

## 農業と環境

### 2 田植え

① 田起こし(耕起) : 田んぼの土を出来るだけ乾燥させて、春の乾燥したお天気をねらいます。最終的に土が細かくして、平らにすることを想定して耕すことです。次の作業工程である代掻きしたときに土が細かく練り上げられて、ドロドロにするために下地を作る作業をいいます。本校では、昨年の収穫後に1回、今年に入ってから2回の合計3回行っています。春先に元肥も施す。

② 代掻き : 田起こしが完了した田んぼに水を張って、土をさらに細かく砕き、丁寧にかけ混ぜて、土の表面を平らにする作業です。代掻きには次のような目的・効果があります。

- (1). 田んぼの水漏れを防ぐ。
- (2). 土の表面を均して、苗がムラなく生育するようにする。
- (3). 苗を植えやすくし、苗の活着と発育を良くする。
- (4). 元肥(もとごえ)をムラなく混ぜ込む。
- (5). 藁や雑草を埋め込む。
- (6). 雑草の種を深く埋め込むことにより、雑草の発芽を抑える。
- (7). 有害ガスを抜き、有機物の腐熟を促進する。



代掻き前の水入れ作業



数日かけ全層に浸透させます



トラクタで水平になるように均します



代掻き終了

- ③ 田植え：12～15cmほどに成長した苗を、田んぼに移植する作業が「田植え」です。稲の栽培では、田んぼに種籾をまいてそのまま育てる「直播栽培」と、苗代田や育苗ハウスで育てた苗を移植する「移植栽培」の2つの栽培法があり、移植栽培が主流です。本校では本来、1・2年生は手植えを行い、3年生が乗用田植え機で田植えを行います。今年は、先生方ですべて行いました。



安全第一！ 機械乗車はヘルメット着用



機械の旋回場所は平らに均します



抜けてしまったところや機械搬入口は手植えで補植します



前面きれいに植え付け終了しました。

- ④ 田植え機：田植え機は、田植え専用の機械です。水田で沈まないように軽く、均一な植え付け作業ができる機械です。ちなみに、トラクタはいろいろな作業ができるように作られた「汎用機」と言われます。田植え機などのその作業専用で作られた機械を「専用機」と言い、汎用機より作業能率が高くなっています。

